

82 エゾノキヌヤナギの古条挿し木による天蚕飼料樹園造成

福島県蚕業試験場栽桑部・平成12年度蚕業試験場年報

1 部門名 蚕糸一栽桑一栽植様式・栽植密度 分類コード 09-01-15000000

2 担当者 土井則夫・堤和敏

3 要旨

天蚕飼料樹エゾノキヌヤナギは挿し木発根力が極めて良好であるため、古条挿し木は飼料樹園を早期に造成する方法として有効と考えられる。そこで挿し木造成による成園化試験を実施し、挿し込み1年目の活着および収量調査を行った。

挿し木用古条は1月に基部から伐採し、黒のポリエチレンフィルムで包み、5℃の冷蔵庫に貯蔵した。挿し穂の長さを20cmと70cmの2区とし、挿し込みは3月に行った。

(1)挿し穂の活着率は挿し穂20cm区、70cm区とも100%であった。

(2)最長枝条長は挿し穂20cm区、70cm区とも同程度で、枝条数は挿し穂70cm区で多かった。

(3)両区の10a当たり新梢量は同程度であった。

(4)両区とも活着率は100%であったが、仕立を考えた場合、挿し穂70cm区が1年早く樹形が整うため有効な方法と考えられた。